

令和5年 24節気・72候カレンダー（花鳥風月・四季の歌）

—旧暦と新暦の長所を取り入れた暦とは—

ほんとうの暦 2023

二十四節気・七十二候カレンダー



七十二候 桃始笑



七十二候 温風至



七十二候 霎時施



七十二候 霞始靄

二十四節気：

12月22日	冬至	太陽が最も低く昼が短い。翌日から長くなり始める。
1月6日	小寒	寒さが激しくなる頃。この日を「寒の入り」という。
1月20日	大寒	寒さ最も厳しい頃。24節気最後の節気、春近し。

七十二候：

72候（2023年）	漢文読み	現代文意味
1月1日	雪下出麦（せっかむぎをいだす）	雪の下に麦が芽を出す
1月6日	芹及栄（せりすなわちさかう）	セリが盛んに茂る
1月10日	水泉動（すいせんうごく）	泉の水が温かみをもつ
1月15日	雉始雉（ちはじめてなく）	雄の雉が雌を求めて鳴く
1月20日	款冬華（かんとうはなさく）	フキノトウが出始める
1月25日	水沢腹堅（すいたくふくけん）	厳しい寒さで沢が凍る
1月30日	鶏始乳（にわとりはじめてにゅうす）	ニワトリが卵を産み始める

注：72候（しちじゅうにこう）の読み方は、各時代の暦に依って異なっている。中国由来の72候は、1685年に暦学者・渋川春海により日本の風土に合った新制七十二候（本朝七十二候）として制定され（貞享暦）、これを更に修正した宝略歴・寛政暦が知られている。現在は、明治時代に改定された略本暦による読み方が一般的である。ここでは、江戸時代に広く使用されていた宝略歴・寛政暦の読み方に従った表記を採用している。

一月一日

作詞：千家尊福
作曲：上 真行

とー しの は じめ の た め し と て
5
お わ り な き よ の め で た さ を
9
ま つ た け た て て か ど ご と に
13
い お う きょ う こ そ た の し け れ

ほんとうの暦2023 **1月**（旧師走・睦月）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
元旦 <small>せつがふぎをいだし 雪下出麦</small>  振替休日 旧 12/10	旧 12/11	旧 12/12	旧 12/13	小寒 <small>せりすなわちさかう 芹乃栄</small>  旧 12/14	旧 12/15	人日の節句 満月 旧 12/16
8	9	10	11	12	13	14
旧 12/17	成人の日 旧 12/18	水泉動 <small>せいせんうごく</small>  鏡開き 旧 12/20	旧 12/21	旧 12/22	旧 12/23	
15	16	17	18	19	20	21
雛始雛 <small>ちはじめてなく</small>  旧 12/24	旧 12/25	旧 12/26	旧 12/27	旧 12/28	大寒 <small>かんとうはなぐく 款冬華</small>  旧 12/29	旧 12/30
22	23	24	25	26	27	28
旧正月 朔  旧暦 1/1	旧 1/2	 旧 1/3	水沢腹堅 <small>すいたくふくけん</small>  旧 1/4	旧 1/5	旧 1/6	春七草 旧 1/7
29	30	31	2月 1	2	3	4
 旧 1/8	鶏始乳 <small>にわとりはじめてにゅうす</small>  旧 1/9	旧 1/10	旧 1/11	旧 1/12	旧 1/13	東風解凍 <small>とうふうかいどう</small>  旧 1/14

1/6	1/20
22. 冬至	24節気 23. 小寒
	24. 大寒



二十四節気:

1月20日	大寒 <small>たいかん</small>	寒さ最も厳しい頃。24節気最後の節気、春近し。
2月4日	立春 <small>りっしゅん</small>	最初の節気。春の始まり。旧暦の1年の始まり。
2月19日	雨水 <small>うすい</small>	雪から雨に変わり、積もった雪も溶けだす頃。

七十二候:

2月4日	東風解凍（とうふうこおりをとく）	春風に氷が解け始める
2月9日	黄鶯睨皖（こうおうけんかんす）	ウグイスの初音が聞こえる
2月14日	魚上氷（うおこおりにのぼる）	水中に魚の姿が見え始める
2月19日	土脉潤起（どみやくうるおいおこる）	温かな雨に土が潤い活気づく
2月24日	霞始靄（かすみはじめてたなびく）	霞が春景色を彩り始める
3月1日	草木萌動（そうもくきざしうごく）	陽気に誘われ草木が萌え出す

注：六曜（先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口）は中国由来で、日本に伝承された当初は時間の吉凶を占う指標として用いられていた。現代では、「日」の吉凶に加え、一日の時間帯の中での吉凶を占う指標とされている。その日の六曜は、（旧暦の月数+旧暦の日数）÷6の余りの数で計算できる。余り0が大安、1が赤口、2が先勝、3が友引、4が先負、5が仏滅となる。従って、旧暦の中秋の名月（8月15日）は必ず仏滅となる。これも何か？であり、このほんとうの暦では採用していない。

早春賦

作詞：吉丸一昌
作曲：中田 章

は る は な の み の か ぜ の さ む さ や ー た
 5 に の う ぐ い す う た は お も え ど ー と
 9 き に あ ら ず ー と こ え も た ー て ず ー と
 13 き に あ ら ず と こ え ー も た ー て ず ー

ほんとうの暦 2023 **2月**（旧睦月・如月）

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
 旧 1/8	 旧 1/9	 旧 1/10	 旧 1/11	 旧 1/12	節分 旧 1/13	 東風解凍 立春 旧 1/14
5	6	7	8	9	10	11
 旧 1/15	 満月 旧 1/16	 旧 1/17	 旧 1/18	 黄鶯見眺 旧 1/19	 旧 1/20	建国記念の日 旧 1/21
12	13	14	15	16	17	18
 旧 1/22	 旧 1/23	 魚上氷 旧 1/24	 旧 1/25	 旧 1/26	 旧 1/27	 旧 1/28
19	20	21	22	23	24	25
 雨水 旧 1/29	 土脉潤起 朔 旧暦 2/1	 旧 2/2	 旧 2/3	 天皇誕生日 旧 2/4	 旧 2/5	 霞始靄 旧 2/6
26	27	28	3月 1	2	3	4
 旧 2/7	 旧 2/8	 旧 2/9	 草木萌動 旧 2/10	 旧 2/11	 旧 2/12	 旧 2/13
2/4		2/19				
大寒	24節気 1. 立春				2. 雨水	



二十四節気:

2月19日	雨水 うすい	雪から雨に変わり、積もった雪も溶けだす頃。
3月6日	啓蟄 ひいもつ	冬ごもりから目覚めた虫が、顔を出す頃。
3月21日	春分 しゅんぶん	昼夜の長さがほぼ同じとなる日。彼岸の中日。

七十二候:

3月6日	蟄虫啓戸（ちっちゅうこをひらく）	冬眠していた虫も地上に出る
3月11日	桃始笑（ももはじめてわらう）	桃の花の蕾が開き始める
3月16日	菜虫化蝶（なむしちようとけす）	菜の虫が蝶になり飛び交う
3月21日	雀始巢（すずめはじめてすくう）	スズメが巣づくりを始める
3月26日	桜始開（さくらはじめてひらく）	桜に花が咲き始める
3月31日	雷乃発声（らいすなわちこえをはつす）	春の初雷が鳴り出す

うれしいひなまつり

作詞：サトウハチロー
作曲：河村 光陽

The musical score is written in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a 2/4 time signature. It consists of four staves of music with lyrics underneath. The lyrics are: あかりをつけましょぼんぼりに、おはなをあげましょもものはな、ごにんばやしのおふえたいこ、きょうはたのしいひなまつり。

ほんとうの暦 2023 **3月** (旧如月・閏如月)

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
旧 2/7	 旧 2/8	旧 2/9	 草木萌動 旧 2/10	旧 2/11	桃の節句 旧 2/12	旧 2/13
5	6	7	8	9	10	11
 螿虫啓戸 旧 2/14	啓蟄 旧 2/15	 満月 旧 2/16	旧 2/17	旧 2/18	 桃始笑 旧 2/19	旧 2/20
12	13	14	15	16	17	18
旧 2/21	旧 2/22	 旧 2/23	 菜虫化蝶 旧 2/24	旧 2/25	旧 2/26	彼岸入 旧 2/27
19	20	21	22	23	24	25
旧 2/28	 雀始巢 旧 2/29	春分 春分の日 旧 2/30	 朔 旧閏 2/1	閏 2/2	彼岸明  閏 2/3	閏 2/4
26	27	28	29	30	31	4月 1
 桜始開 閏 2/5	閏 2/6	閏 2/7	 閏 2/8	閏 2/9	 雷乃発声 閏 2/10	閏 2/11

3/6

3/21

2. 雨水	24節気 3. 啓蟄	4. 春分
-------	------------	-------



二十四節気：

3月21日	春分 <small>しゅうぶん</small>	昼夜の長さがほぼ同じとなる日。彼岸の中日。
4月5日	清明 <small>せいめい</small>	万物がけがれなく、清らかで生き生きとしている。
4月20日	穀雨 <small>こくう</small>	春の柔らかな雨に、農作物がうるおう。

七十二候：

4月5日	玄鳥至（げんちょういたる）	ツバメが飛来する
4月10日	鴻雁北（こうがんきたす）	雁が北へ帰っていく
4月15日	虹始見（にじはじめてあらわる）	虹が現れ始める
4月20日	葭始生（よしはじめてしょうず）	ヨシ・アシが芽生え始める
4月25日	霜止出苗（しもやんでなえいず）	霜が降りなくなり苗が成長
4月30日	牡丹華（ぼたんはなさく）	ボタンの花が咲き始める

さくらさくら

作詞：不明
作曲：不明

さくらさくら

3
やよいのそらーは みわたすかぎり

7
かすみかくもーか においそいずーる

11
いざや いざや みにゆーかん

ほんとうの暦 2023 **4月**（旧閏如月・弥生）

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
閏 2/5	閏 2/6	閏 2/7 	閏 2/8  ひびきわたるこえはかす 雷乃発声	閏 2/9	閏 2/10	閏 2/11
2	3	4	5	6	7	8
閏 2/12	閏 2/13	閏 2/14 げんちよういたる 玄鳥至 	閏 2/15 清明	閏 2/16 満月 	閏 2/17	閏 2/18
9	10	11	12	13	14	15
閏 2/19  こうがんとたす 鴻雁北	閏 2/20	閏 2/21	閏 2/22	閏 2/23 	閏 2/24 にじはじめてあらわる 虹始見 	閏 2/25
16	17	18	19	20	21	22
閏 2/26	閏 2/27	閏 2/28	閏 2/29 よしはじめてしょうす 葎始生 	閏 2/30 穀雨  朔 旧暦 3/1	旧 3/2	旧 3/3 旧桃の節句 
23/30	24	25	26	27	28	29
旧 3/4・11 ぼたんはなさく 牡丹華 	旧 3/5	旧 3/6 しもやんでぬえいす 霜止苗出 	旧 3/7	旧 3/8 	旧 3/9	旧 3/10 昭和の日

4. 春分	24節気 5. 清明	6. 穀雨
-------	------------	-------



二十四節気：

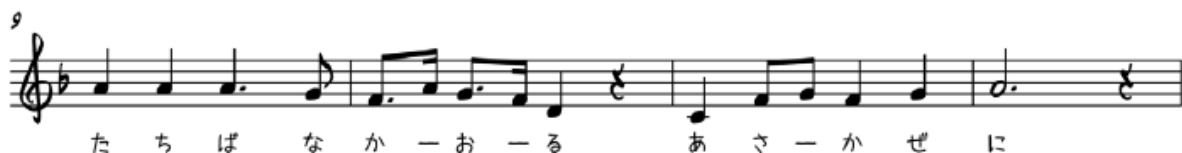
4月20日	穀雨 <small>こくう</small>	春の柔らかな雨に、農作物がうるおう。
5月6日	立夏 <small>りゅうか</small>	暦の上の夏の始まり。新緑に彩られ、晴天が続く。
5月21日	小満 <small>しょうまん</small>	陽気が良くなり、草木が成長して茂る。

七十二候：

72候（2021年）	漢文読み	現代文意味
5月6日	蛙始鳴（かえるはじめてなく）	田野のカエルが鳴き始める
5月11日	蚯蚓出（きゅういんいずる）	ミミズが地上に現れ始める
5月16日	竹笋生（ちくかんしょうず）	タケノコが生える
5月21日	蚕起食桑（かいこおこってくわをくらう）	カイコ成長し桑の葉を食べる
5月26日	紅花栄（こうかさかう）	ベニバナ盛んに咲く
6月1日	麦秋至（ばくしゅういたる）	麦を刈り入れる

こいのぼり

作詞：不明
作曲：弘田龍太郎



ほんとうの暦2023 **5月**（旧弥生・卯月）

日	月	火	水	木	金	土
30 ぼたんはなぞく 牡丹華  旧 3/11	1 旧 3/12	2 八十八夜 旧 3/13	3 憲法記念日 旧 3/14	4 みどりの日 旧 3/15	5 こどもの日 端午の節句 旧 3/16	6 立夏 蛙始鳴 満月  旧 3/17
7 旧 3/18	8 旧 3/19	9 旧 3/20	10 旧 3/21	11 ひるなつ 蚯蚓出  旧 3/22	12 旧 3/23	13 旧 3/24
14 母の日 旧 3/25	15 旧 3/26	16 ちくかんしょうげ 竹筍生  旧 3/27	17 旧 3/28	18 旧 3/29	19 旧 3/30	20 朔 旧暦 4/1
21 かいはこってくわまくらう 蚕起食桑 小満  旧 4/2	22 旧 4/3	23 旧 4/4	24 旧 4/5	25 こうかさかう 紅花栄  旧 4/6	26 旧 4/7	27 旧 4/8
28 旧 4/9	29 旧 4/10	30 旧 4/11	31 旧 4/12	6月 1 ばくしゅうたる 麦秋至  旧 4/13	2 旧 4/14	3 旧 4/15
5/6			5/21			
6. 穀雨		24節気 7. 立夏			8. 小満	



二十四節気：

5月21日	小満 <small>しょうまん</small>	陽気が良くなり、草木が成長して茂る。
6月6日	芒種 <small>ぼうしゅ</small>	稲などの穀物の種をまく時期。梅雨入りも間近。
6月21日	夏至 <small>げし</small>	太陽が最も高く昇り、1年で最も昼が長い日。

七十二候：

6月1日	麦秋至（ばくしゅういたる）	麦を刈り入れる
6月6日	螳螂生（とうろうしょうず）	カマキリが現れ始める
6月11日	腐草為螢（ふそうほたるとなる）	草の中から蛍が舞い始める
6月16日	梅子黄（うめのみきなり）	梅の実が色づき始める
6月21日	乃東枯（ないとうかる）	ウツボグサが枯れ始める
6月27日	菖蒲華（しょうぶはなさく）	アヤメの花が咲き始める

雨降りお月さん

作詞：野口雨情
作曲：中山晋平

あめふり おつきさん くものーかーげ およめに ゆくときゃ だれとゆー
く ひとりーで からかさ さしてゆく からかさ ないときゃ
だれとゆーく シャラチャーラー シャンシャン オズつけー
た おうまに ゆられてーぬれて ゆく

ほんとうの暦 2023 **6月** (旧卯月・皐月)

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
旧 4/9	旧 4/10	旧 4/11	旧 4/12	ばくしゅういたる 麦秋至 		
4	5	6	7	8	9	10
 満月 旧 4/16	旧 4/17	芒種  どうろうしょうづ 螿螂生 旧 4/18	旧 4/19	旧 4/20	旧 4/21	時の記念日 旧 4/22
11	12	13	14	15	16	17
 入梅 旧 4/23	 旧 4/24	旧 4/25	旧 4/26	旧 4/27	 梅子黄 旧 4/28	旧 4/29
18	19	20	21	22	23	24
父の日  朔 旧暦 5/1	旧 5/2	 旧 5/3	夏至  乃東枯 旧 5/4	旧端午の 節句 旧 5/5	旧 5/6	旧 5/7
25	26	27	28	29	30	7月 1
 旧 5/8	旧 5/9	 菖蒲華 旧 5/10	旧 5/11	旧 5/12	旧 5/13	旧 5/14

6/6

6/21

8. 小満	24節気 9. 芒種	10. 夏至
-------	------------	--------



二十四節気：

6月21日	夏至 ^{げし}	太陽が最も高く昇り、1年で最も昼が長い日。
7月7日	小暑 ^{しょうしょ}	だんだん暑さが増してくる。梅雨明け近い頃。
7月23日	大暑 ^{たいしょ}	夏の暑さが本格的になる。暑中見舞いの頃。

七十二候：

7月2日	半夏生（はんげしょうず）	半夏が生え始める（田植終り）
7月7日	温風至（おんぷういたる）	暑気に入り熱風が吹き始める
7月12日	蓮始華（はすはじめてはなさく）	ハスの花が咲き始める
7月18日	鷹乃学習（たかすなわちがくしゅうす）	鷹の子が飛ぶ事を覚え巣立つ
7月23日	桐始結花（きりはじめてはなをむすぶ）	桐の花が実を結び始める
7月28日	土潤溽暑（つちうるおいてじよくしよす）	土の湿り気が蒸発し蒸し暑い

夏は来ぬ

作詞：佐佐木信綱
作曲：小山作之助

うのはなのにおうかきねにほととぎすはやもきなきて
5
しのびねもーらーすなつーはきぬ

ほんとうの暦 2023 **7月**（旧臯月・水無月）

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
 旧 5/8	 旧 5/9	 しょうぶはなまく 菖蒲華 旧 5/10	旧 5/11	旧 5/12	旧 5/13	旧 5/14
2	3	4	5	6	7	8
 はんしょうず 半夏生 旧 5/15	 満月 旧 5/16	旧 5/17	旧 5/18	旧 5/19	 小暑 七夕 おんぶういたる 温風至 旧 5/20 旧 5/21	旧 5/21
9	10	11	12	13	14	15
旧 5/22	 旧 5/23	 はすはじめはなまく 蓮始開 旧 5/24 旧 5/25	旧 5/26	旧 5/27	旧 5/27	旧 5/28 お盆
16	17	18	19	20	21	22
旧 5/29	 海の日 かすねがくしめす 鷹乃学習 旧 5/30	 朔 旧暦 6/1	旧 6/2	 夏土用入 旧 6/3	旧 6/4	旧 6/5
23/30	24/31	25	26	27	28	29
 大暑 旧 6/6・13	 かしらひてはなむす 桐始結花 旧 6/7・14	旧 6/8	旧 6/9	旧 6/10	 つゆあはれはなむす 土潤溽暑 旧 6/11 旧 6/12	旧 6/12
7/7		7/23				
10. 夏至		24節気 11. 小暑			12. 大暑	



二十四節気：

7月23日	大暑 ^{たいしよ}	夏の暑さが本格的になる。暑中見舞いの頃。
8月8日	立秋 ^{りゅうしゅう}	残暑は続くが、暦の上では秋。残暑見舞いの頃。
8月23日	処暑 ^{しよしよ}	暑さが収まる頃。朝夕の涼しさに秋の気配。

七十二候：

8月2日	大雨時行（たいうときどきおこなう）	夕立が時々ある
8月8日	涼風至（りょうふういたる）	秋を感じさせる涼風が吹く
8月13日	寒蟬鳴（かんぜんなく）	ヒグラシが鳴き始める
8月18日	蒙霧升降（もうむしやうごう）	深い霧が立ちのぼり降りる
8月23日	綿柎開（めんぷひらく）	綿を包むガクが開き綿を吹く
8月28日	天地始肅（てんちはじめてしゆくす）	天地の暑さが収まり始める

うみ

作詞：林 柳波
作曲：井上武士



ほんとうの暦 2023 **8月**（旧水無月・文月）

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
旧 6/13	大雨時行  旧 6/14	旧 6/15	満月  旧 6/16	旧 6/17	旧 6/18	旧 6/19
6	7	8	9	10	11	12
広島原爆忌 旧 6/20	涼風至  旧 6/21	立秋 旧 6/22	長崎原爆忌  旧 6/23	旧 6/24	山の日 旧 6/25	旧 6/26
13	14	15	16	17	18	19
寒蟬鳴  旧 6/27	旧 6/28	終戦の日 お盆(月遅れ) 旧 6/29	朔  旧暦 7/1	蒙霧升降  旧 7/2	旧 7/3	旧 7/4
20	21	22	23	24	25	26
旧 7/5	旧 7/6	旧七夕 Star Week 旧 7/7	処暑  旧 7/8	綿柎開  旧 7/9	旧 7/10	旧 7/11
27	28	29	30	31	9月 1	2
天地始肅  旧 7/12	旧 7/13	旧 7/14	旧 7/15	満月  旧 7/16	防災の日 二百十日 旧 7/17	旧 7/18
8/8			8/23			
12. 大暑		24節気 13. 立秋			14. 処暑	



二十四節気：

8月23日	処暑 <small>しよしよ</small>	暑さが収まる頃。朝夕の涼しさに秋の気配。
9月8日	白露 <small>はくろ</small>	秋が深まり、草花に朝露がつかはじめる頃。
9月23日	秋分 <small>しゅうぶん</small>	昼夜の長さほぼ同じ、秋の夜長へ。彼岸の中日。

七十二候：

9月3日	禾乃登（くわすなわちみのる）	穀物が実り始める
9月8日	草露白（そうろしろし）	草の葉に白露が降り始める
9月13日	鶺鴒鳴（せきれいなく）	セキレイの鳴き声が聞こえる
9月18日	玄鳥去（げんちようさる）	ツバメが南方へ去っていく
9月23日	雷乃収声（らいすなわちこえをおさむ）	雷が鳴らなくなる
9月28日	蟄虫坏戸（ちっちゅうごをはいす）	寒さを恐れ虫が地中に隠れる

赤とんぼ

作詞：三木露風
作曲：山田耕筰

ゆ う や け こ や け ー の あ か と ん ぼ

5
お わ れ て み た の ー は ー い つ の ー ひ ー か

ほんとうの暦2023 **9月**（旧文月・葉月）

日	月	火	水	木	金	土
27  旧 7/12	28 <small>てんちはじめてゆくす</small> 天地始肅 旧 7/13	29 旧 7/14	30 旧 7/15	31  満月 旧 7/16	1 防災の日 二百十日 旧 7/17	2 旧 7/18
3 <small>かすなわちみのる</small> 禾乃登 旧 7/19	4 旧 7/20	5 旧 7/21	6 旧 7/22	7  <small>そうろうしろし</small> 草露白 旧 7/23	8 白露 旧 7/24	9 重陽の節句 旧 7/25
10 旧 7/26	11 二百廿日 旧 7/27	12 旧 7/28	13  <small>せきれいなく</small> 鶺鴒鳴 旧 7/29	14 旧 7/30	15  朔 旧暦 8/1	16 旧 8/2
17  旧 8/3	18 敬老の日 <small>けんちようさる</small> 玄鳥去 旧 8/4	19  旧 8/5	20 彼岸入 旧 8/6	21  旧 8/7	22 <small>らいてんのかみをとむ</small> 雷乃収声 旧 8/8	23 秋分 秋分の日 旧 8/9
24 旧 8/10	25 旧 8/11	26 彼岸明 旧 8/12	27 <small>ちっちゅうごまはし</small> 螿虫坏戸 十三夜 旧 8/13	28  旧 8/14	29 中秋の名月 十五夜 旧 8/15	30 旧 8/16
9/8			9/23			
14. 処暑		24節気 15. 白露			16. 秋分	



二十四節気：

9月22日	秋分 <small>しゅうぶん</small>	昼夜の長さほぼ同じ、秋の夜長へ。彼岸の中日。
10月8日	寒露 <small>かんろう</small>	草木に冷たい露が降りる頃。秋が深まる。
10月24日	霜降 <small>そうこう</small>	早朝に霜が降り始める頃。晩秋に向かう。

七十二候：

10月3日	水始涸（みずはじめてかる）	田の水を抜き稲刈りの準備
10月8日	鴻雁来（こうがんきたる）	ガンが北地より飛来する
10月13日	菊花開（きくかひらく）	キクの花が咲き始める
10月19日	蟋蟀在戸（しつそつこにあり）	戸口で秋の虫が鳴く
10月24日	霜始降（しもはじめてふる）	初霜が降りる頃
10月29日	霎時施（しぐれときどきほどこす）	時雨（小雨）が時々降る

夕焼け小焼け

作詞：中村雨紅
作曲：草川 信

ゆ う や け こ や け で ひ が く れ て

5
や ま の お て ら の か ね が る

9
お ー て て つ な い で み な か え ろ

13
か ら す と い っ し ょ に か え り ま し ょ う

ほんとうの暦 2023 10月 （旧葉月・長月）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
旧 8/17	旧 8/18	 みずはじめてくる 水始酒 旧 8/19	 みずはじめてくる 水始酒 旧 8/20	旧 8/21	旧 8/22	 旧 8/23
8	9	10	11	12	13	14
 寒露 旧 8/24	 こうがんとく 鴻雁来 旧 8/25	旧 8/26	旧 8/27	旧 8/28	 きくがひらく 菊花開 旧 8/29	旧 8/30
旧 8/24	旧 8/25	旧 8/26	旧 8/27	旧 8/28	旧 8/29	旧 8/30
15	16	17	18	19	20	21
 朝 旧 9/1	旧 9/2	 旧 9/3	旧 9/4	 しつこにあり 蟋蟀在戸 旧 9/5	旧 9/6	旧 9/7
旧 9/1	旧 9/2	旧 9/3	旧 9/4	旧 9/5	旧 9/6	旧 9/7
22	23	24	25	26	27	28
 旧 9/8	旧重陽節句 (菊の節句) 旧 9/9	 霜降 旧 9/10	 霜降 旧 9/11	旧 9/12	旧 9/13	旧 9/14
旧 9/8	旧 9/9	旧 9/10	旧 9/11	旧 9/12	旧 9/13	旧 9/14
29	30	31	11月 1	2	3	4
 満月 旧 9/15	 旧 9/16	 雲時施 旧 9/17	旧 9/18	旧 9/19	 もみじつたきなり 楓葉黄 旧 9/20	旧 9/21
旧 9/15	旧 9/16	旧 9/17	旧 9/18	旧 9/19	旧 9/20	旧 9/21

10/8

10/24

16. 秋分	24節気 17. 寒露	18. 霜降
--------	-------------	--------



 ゆ う や け こ や け で ひ が く れ て

二十四節気：

10月24日	霜降 <small>そうこう</small>	早朝に霜が降り始める頃。晩秋に向かう。
11月8日	立冬 <small>りゅうとう</small>	この日から暦の上の冬。木枯らしが吹き冬の訪れ。
11月22日	小雪 <small>しょうせつ</small>	葉が落ち、山に初雪が舞い始める頃。冬の入り口。

七十二候：

11月3日	楓蔦黄（ふうかつきなり）	カエデやツタの葉が色づく
11月8日	山茶始開（さんちゃはじめてひらく）	山茶花が咲き始める
11月13日	地始凍（ちはじめてこおる）	寒さで大地が凍り始める
11月18日	金盞香（きんせんこうばし）	水仙が咲き香を放つ
11月22日	虹蔵不見（にじかくれてみえず）	陽光が弱まり虹現れなくなる
11月27日	朔風払葉（さくふうはをはらう）	北風が木の葉を散らす

もみじ

作詞：高野辰之
作曲：岡野貞一

あきのゆうひに てるーやまもみーじ
こいもうすいも かずーあるなかに
まつをいろどる かえーでやーつたは
やまのふもと の すそーもよう

ほんとうの暦 2023 **11月**（旧長月・神無月）

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
 満月 旧 9/15	旧 9/16	旧 9/17	旧 9/18	 もみじつきたきなり 楓葉黄 文化の日 旧 9/19	旧 9/20	旧 9/21
5	6	7	8	9	10	11
旧 9/22	 旧 9/23	旧 9/24	立冬  さんぢやはじめてひらく 山茶始開 旧 9/25	旧 9/26	旧 9/27	旧 9/28
12	13	14	15	16	17	18
 ちはじめてこれる 地始東 旧 9/29	 朔 旧暦 10/1	旧 10/2	 七五三 旧 10/3	旧 10/4	 さんせんこうし 金盞香 旧 10/5	旧 10/6
19	20	21	22	23	24	25
旧 10/7	 旧 10/8	 にじかくれてみえず 虹蔵不見 旧 10/9	小雪  旧 10/10	勤労感謝の日 旧 10/11	旧 10/12	旧 10/13
26	27	28	29	30	12月 1	2
 さくふうはきはらう 朔風払葉 旧 10/14	 満月 旧 10/15	旧 10/16	旧 10/17	旧 10/18	 たちばなはじめてきなり 橘始黄 旧 10/19	旧 10/20

11/8

11/22

18. 霜降	24節気 19. 立冬	20. 小雪
--------	-------------	--------



二十四節気：

11月22日	小雪 <small>しゅうせつ</small>	葉が落ち、山に初雪が舞い始める頃。冬の入り口。
12月7日	大雪 <small>たいせつ</small>	平地にも雪が降る頃。本格的な冬の到来。
12月22日	冬至 <small>とうじ</small>	太陽が最も低く昼が短い。翌日から長くなり始める。

七十二候：

12月2日	橘始黄（たちばなはじめてきなり）	柑橘類が黄色に色づき始める
12月7日	閉塞成冬（へいそくしてふゆとなる）	冬気強まり万物みな塞がる
12月12日	熊蟄穴（くまあなにちっす）	熊が寒さを避け冬眠する
12月17日	鱒魚群（けつぎよむらがる）	サケが群がって川を遡る
12月22日	乃東生（ないとうしょうず）	夏枯（うつぼ）草が芽を出す
12月27日	麋角解（びかくげす）	鹿の角が落ちて生え変わる
1月1日	雪下出麦（せっかむぎをいだす）	雪の下に麦が芽を出す

冬景色

作詞：不明
作曲：不明

さぎりきゆるみなとえの
ふねにしろしあさのしも
ただみずどりのこえはして
いまださめずきしのいえ

ほんとうの暦 2023 **12月**（旧神無月・霜月）

日	月	火	水	木	金	土
26 <small>さくふうはせはらう 朔風払葉</small>  旧 10/14	27  満月 旧 10/15	28 旧 10/16	29 旧 10/17	30 旧 10/18	1 <small>たばはひのてきせり 橘始黄</small>  旧 10/19	2 旧 10/20
3 旧 10/21	4 旧 10/22	5  旧 10/23	6 旧 10/24	7 大雪 旧 10/25	8 <small>へいせくはゆくなる 閉塞成冬</small>  旧 10/26	9 旧 10/27
10 旧 10/28	11  <small>くまがほにちやす 熊蟄穴</small> 旧 10/29	12 旧 10/30	13  朔 旧暦 11/1	14 旧 11/2	15  旧 11/3	16 旧 11/4
17 <small>けつぎよむらがる 鰯魚群</small>  旧 11/5	18 旧 11/6	19 旧 11/7	20  旧 11/8	21 旧 11/9	22 冬至 旧 11/10	23 <small>なせはれよす 乃東生</small>  旧 11/11
24/31 大晦日 旧 11/12・19	25 旧 11/13	26 旧 11/14	27  満月 旧 11/15	28 旧 11/16	29 旧 11/17	30 旧 11/18

12/7

12/22

20. 小雪	24節気 21. 大雪	22. 冬至
--------	-------------	--------



令和5年 24節気・72候カレンダー（花鳥風月・四季の歌）

日本の童謡・唱歌（四季の歌）

各月の季節に相応しい日本の童謡・唱歌 12 曲を、デザインスタジオみらいで選曲し、楽譜と歌詞を載せています。愛唱して頂けると幸いです。

1月	作詞：千家尊福 作曲：上 真行	一月一日	文部省唱歌
2月	作詞：吉丸一昌 作曲：中田 章	早春賦	日本の歌百選
3月	作詞：サトウハチロー 作曲：河村光陽	うれしいひなまつり	日本の歌百選
4月	作詞：不明 作曲：不明	さくら さくら	日本古謡
5月	作詞：不明 作曲：弘田龍太郎	こいのぼり	文部省唱歌
6月	作詞：野口雨情 作曲：中山晋平	雨降りお月さん	日本の歌百選
7月	作詞：佐佐木信綱 作曲：小山作之助	夏は来ぬ	日本の歌百選
8月	作詞：林 柳波 作曲：井上武士	うみ	文部省唱歌
9月	作詞：三木露風 作曲：山田耕筰	赤とんぼ	日本の歌百選
10月	作詞：中村雨紅 作曲：草川信	夕焼け小焼け	日本の歌百選
11月	作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一	もみじ	日本の歌百選
12月	作詞：不明 作曲：不明	冬景色	文部省唱歌

ほんとうの暦をめざして

新しい暦（カレンダー）創りに挑戦しています。新暦と旧暦の良いところを融合した暦の制作です。日本文化の伝統である「花鳥風月」の四季や、農業暦や生活暦にも使える情報が載せられている暦が望ましいと考えます。明治政府が太陰太陽暦（天保暦）から太陽暦（グレゴリオ暦）に急に切り替えた際、旧暦の節句行事を新暦の日にならしてしまっただけで、節句の季節感がずれています。「桃の節句」は、新暦の3月3日に設定されていますが、まだ梅の終わりの時期です。やはり、旧暦の3月3日位が「桃の節句」に相応しいのではと思われます。もちろん、南北に長い日本列島なので、地域により大きな差があります。そこで、**新暦3月3日から一か月後の4月3日までを「雑祭り月間」としてはとも考えます。**同じことが5月5日端午の節句（菖蒲の節句）、7月7日七夕の節句や9月9日重陽の節句（菊の節句）にも言えます。慌しい世相とは離れ、節句行事を月間行事として楽しめる文化の創生が望まれます。ここでは、太陰太陽暦の特徴である月の満ち欠けと、太陽の黄道上の運行に基づく24節気72候を和風イラストにより可視化することにより、新たなカレンダーとして試作してみました。

また、新暦（太陽暦）と旧暦（太陰太陽暦）とを対応付ける**サークルグラフ 2023**（下図）を作成してみました。新暦では1年の始まりが、24節気での冬至の時期にあたり、旧暦の時代に年賀の挨拶に使われていた「初春」や「迎春」のイメージとは一致していません。やはり、1年の始まりは、旧暦の時代に文化行事として行われていた「節分」を大晦日とし、「立春」を1年の始まりとするのが自然と思われる。赤い矢印は旧暦の正月の位置、青の矢印は新暦での正月の位置を示しています。また、旧暦での月の呼び名（和風月名）は、やはり旧暦の各月に対応付けるのが自然のようです。ついては、和風月名を新暦の各月に対応付けて覚えている方は留意してください。なお、今年は日本の童謡・唱歌のなかから「四季の歌」を選んでみました。

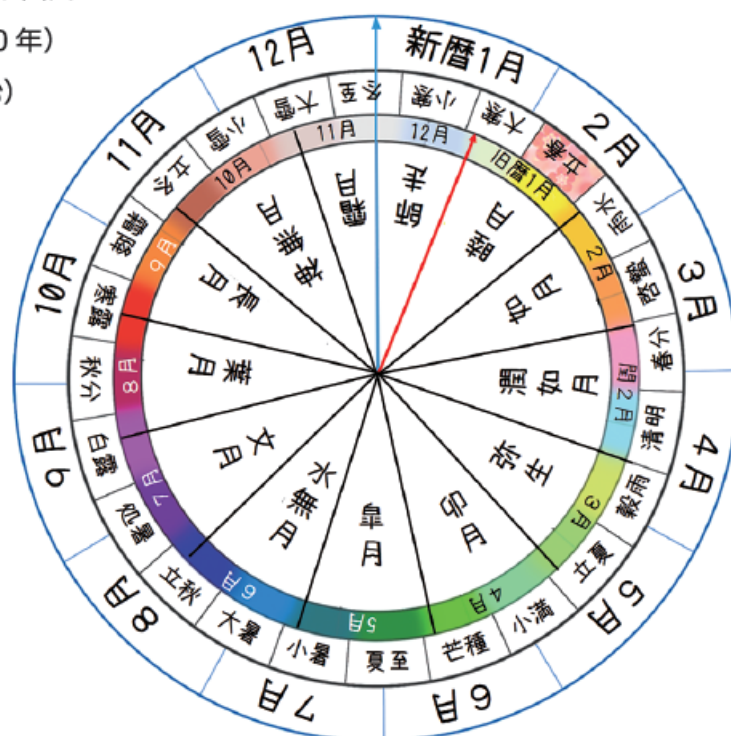
デザイン：デザインスタジオみらい（山口学芸大学、山口芸術短期大学）

イラスト：吉河悠 選曲・編集：小野隆洋・三池秀敏

印刷：大村印刷（株） 販売：（株）ナチュレ山口

解説本：ほんとうの暦（大学教育出版、2020年）

暦タイトル：國分倫子（サークルグラフ発案含む）



ほんとうの暦
©デザインスタジオみらい